

校長室だより

平成21年（2009年）12月15日



校長 箱家 勝規

ほめられたこと

先週の金曜日は、本校で「学校協力者会議」が開催され、5校時に授業参観をしていただきました。学校協力者のメンバーは、晴嵐学区、富士見学区の自治連合会長様をはじめ、地域の関係機関の方々17名です。

この会議は今年2回目ですが、前回と同様にたくさんのおほめの言葉をいただきました。

ひとつ目は、校舎内、とくに廊下がきれいで、ごみがほとんど落ちていないことです。授業が始まる前には、授業のない職員室の先生方全員が、生徒が気持ちよく授業が受けられるように、ほうきとちりとりを持ってごみを拾います。今では、当たり前になってきていますが、毎日、毎時間続けられていることが、素晴らしいことだと思っています。

また、生徒もごみを落とさないようにしていることがわかります。生徒の皆さんが、きれいにしようとする気持ちがあるから、美しさが保てていると思っています。

ふたつ目は、生徒が落ち着いて授業に参加をしていたことです。

先生の話をしっかり聞いている生徒、先生の指示に従って問題を解いたり、ノートに書いている生徒、班の中で真剣に話し合いをしている生徒など、どの教室でも真面目に学習している姿が印象的でした。



三つ目は、授業がそれぞれ工夫されていることです。

英語の授業では、小グループに分かれ、セルゲイ先生が英語で言われた問題について、カードを取り合うゲームでした。学級みんなが集中して英語を聞き取っていることがわかりました。

20名くらいの少人数に分かれた数学の授業では、静かに問題に向き合っているところでした。

音楽は2人ずつのリコーダーの発表会、技術は折りたたみ椅子づくり、体育はソフトボールなどの授業でした。

参観いただいたある方は、次のようにおっしゃっていただきました。「最近の子どもたちは幸せやな。昔は、先生の話聞いて授業を受けるだけやったけど、今は、見ているも楽しそうな授業がたくさんあるから。」

生徒や先生方のみんなで作ってきた北大路中学校ですから、そのことをほめていただいたことが、とてもうれしかった一日でした。